

富山県小矢部市

津沢 夜高 あんどん

毎年6月
第一金・土曜夜

津沢夜高行燈保存会

小矢部市商工会津沢支所内
富山県小矢部市津沢 345 TEL0766-61-2356

共催 小矢部市・小矢部市観光協会・小矢部市商工会

祭りは
夜が更けるとともに最高潮に達し、
やがて静かな闇へと帰っていく。



交通アクセス

- | | |
|--------------------|-------|
| あいの風とやま鉄道石動駅より | 車で15分 |
| 北陸自動車道小矢部ICより | 車で10分 |
| 砺波ICより | 車で10分 |
| 能越自動車道小矢部東ICより | 車で8分 |
| 東海北陸自動車道南砺スマートICより | 車で8分 |
| 三井アウトレットパーク北陸小矢部より | 車で18分 |

燈と魂の 壮麗な夜

毎年6月第一金・土曜の夜、小矢部市津沢地区では五穀豊穡、天下泰平を願って夜高まつりが催される。

夜高は田楽、山車、釣りものから組み立てられ、大きいものは高さ6m・長さ10m余りのものもある。山車、釣りものは細い竹を用いて、龍・御所車・花籠・牡丹・蝶・鶴など立体を形どり、和紙を貼る。その上に蠟引き・食紅など彩色をして仕上げる。完成まで数ヶ月。毎晩おそくまで全て共同手作業で行われる。

祭りの当日、宵闇が迫ると、家々の軒先毎につるした田楽行燈に灯がともされる。それを合図にまず豆しばりの鉢巻に小若の法被を着た子供たちが小行燈を引き、次々と通り過ぎてゆく。その後、若衆たちが太鼓の響きと掛け声とともに大行燈を練り担ぐ。

祭りの見せ場は、何といっても向かい合った双方の夜高行燈が、裁許長の掛け声で激しくぶつかり合い、相手側の山車、釣りものを壊す『喧嘩夜高行燈』である。まさに引き手である若衆たちの勇氣、エネルギーのぶつかり合う瞬間であり、そこに居合わす見物客も一緒に、緊張と陶酔の世界へと引き込んでいく。

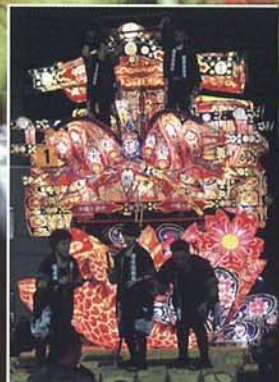
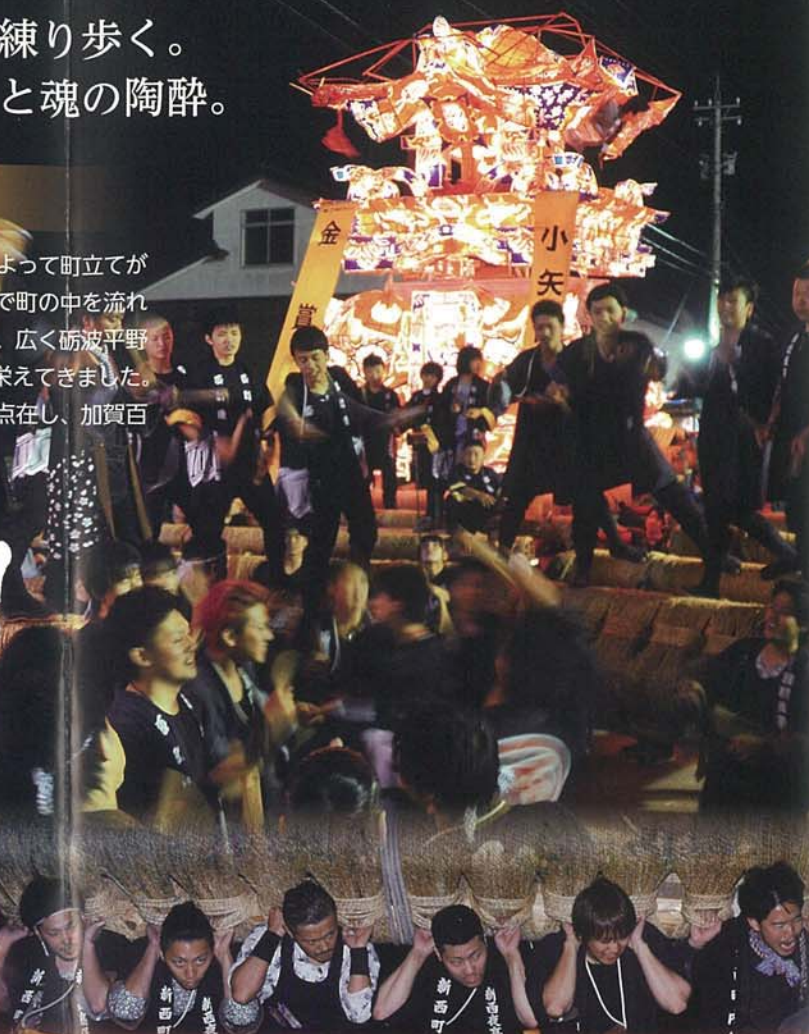
闇の中を御神燈の列が練り歩く。
燈火と人のエネルギーと魂の陶醉。

小矢部市 津沢

万治3年(1660)開祖阿曾三右衛門翁によって町立てがなされた津沢は、藩政時代から明治中期まで町の中を流れる小矢部川を中心に藩倉や舟着き場があり、広く砺波平野の生産米をはじめ生活物資の集散地として栄えてきました。

町内にはのどかな街並みや名跡・旧跡が点在し、加賀百万石文化の流れを今にとどめています。

ヨイカサハ
ヨイカサハ



清水



興法寺



上町



養輪



西町



浦町



新西